

大切な命 意味がある

光明中で
講演会 道志さんが語り掛け

生駒市立光明中学校（阪本英雄校長、392人）の「命の大切さ」を学ぶ講演会が20日、同市小明町の同校で開催された。元フリーアナウンサーの道志真弓さん（52）＝大阪府＝が講演。全校生徒に向けて、染色体異常の病気のため8歳8カ月で他界した長女の弓華さんと過ごした日々を語り、「生まれてこなければよかった命なんて一つもない」と訴えた。

生駒

道志さんは、弓華さんの生後間もなく「今後歩くことも話すこともできない」と医師から告げられた。「奈落の底に突き落とされた気持ちだった。夫の『生まれてきてくれてよかった』という言葉で前を向いて歩けるようになった」と回想。4歳で余命1カ月を宣告され

たが、弓華さんは力強く生き続けたという。その上で「いつも笑顔で、一緒に過ごす時

間が楽しかった。生まれてくる命には意味がある」と生徒に語り掛けた。

生徒会副会長の3年生、篠崎はなさん（14）は「命の大切さを考えさせられた」と話した。



娘の生涯を語り、命の大切さを訴える道志さん＝20日、生駒市小明町の光明中